

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 339 号	氏名	雨森 美里
学位審査委員	主 査	松山 俊文	
	副 査	大園 恵幸	
	副 査	中尾 一彦	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>特発性間質性肺炎の代表的な組織型である特発性通常型間質性肺炎（特発性 UIP）と特発性非特異的間質性肺炎（特発性 NSIP）に分類される線維化病変を主体とする特発性線維型非特異的間質性肺炎（特発性 fibrotic NSIP）とは、ときに鑑別が困難であるために鑑別のための指標が求められている。本研究は生体内でのコラーゲン産生に必須の分子シャペロンである HSP47 の肺組織での発現について fibrotic NSIP と特発性 UIP などとの間で比較検討を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>対象は外科的肺生検で UIP あるいは fibrotic NSIP の診断を受けた計 63 例で、これらの肺組織に対し HSP47 の免疫染色を行い陽性度を 4 段階で評価している。さらにその発現レベルと各種臨床検査所見、生存期間との検討を行っており研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>これまで特発性 UIP と、膠原病を基礎とする CVD-UIP との間で肺組織の HSP47 の発現に差があることが知られていたが、本研究の結果特発性 fibrotic NSIP と CVD-fibrotic NSIP の肺線維芽細胞における HSP47 の発現には有意差が認められなかった。更に特発性 fibrotic NSIP の症例中で HSP47 の発現のレベルと予後とに相関を見いだしており、これらの研究成</p>			

果は高く評価できる。以上のように、本論文は特発性間質性肺炎の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。